

顔の魅力評定における個人差要因の検討

—男性的な男性顔に対する選好と恋愛意識の関連—

Individual differences in ratings of male facial attractiveness
-The association between female romantic love styles and preference for male facial
masculinity-

高橋 翠¹⁾

Midori TAKAHASHI¹⁾

E-mail: hisui-green@hotmail.co.jp

要旨

女性が、男性的な印象を与える特徴（性ホルモン・マーカー）をどの程度強く備えた男性顔に魅力を知覚するかということには、体系的な個人差が存在する可能性が指摘されている。進化心理学的視点に依拠した研究を通じて、男性的な特徴は女性の繁殖の成功（生物学的適応度）に対してベネフィット（e.g. 持ち主の健康度）だけでなくコスト（e.g. 短期的性戦略の取りやすさ）をも伝える両価的なシグナルであるために、女性自身の資質や状況に応じて男性的な特徴に対する魅力知覚が変化するという仮説（女性の繁殖戦略におけるトレード・オフ；e.g. Fink & Penton-Voak, 2002）が提唱されている。本研究では配偶者選択におけるコスト・ベネフィット間のトレード・オフに影響する心理的要因として、親密な異性との関係性に対する意識・信念の側面に着目した。異性との関係性に関する信念は、Lee（1977）の恋愛類型論に基づく恋愛意識尺度（水野，2006）によって測定し、女子大学生に男性的な特徴を強調/減衰した男性顔写真の中から最も魅力的だと思ふ顔を選択させた。その結果、現在恋人のいる異性愛の女性において、恋愛意識尺度におけるアガペ得点が高いほどより男性的な男性顔を選好する傾向が認められた（アガペ得点の低さが、それほど男性的な特徴をもたない中性的な男性顔を選好することと関連していた）。

キーワード：顔魅力，進化心理学，性的二形，恋愛意識

Keywords: facial attractiveness, evolutionary psychology, sexual-dimorphism, romantic love style

1. 問題と目的

いかなる特徴を有する顔が魅力的なのか。また、そうした特徴を持つ顔に魅力を知覚するのはどのような人なのか。顔の魅力をめぐった問いが多くの人々の関心を集める重要なトピックであることは、周囲の環境を一瞥すれば明白である。広告やメディアには、最近特に人々から魅力的だと評される俳優やアイドルについての情報や、自身の魅力を高めたり、特定の人物に受け入れられる容姿を作り上げたりするための情報で溢れかえっている。こうした経験知に符合するように、心理学的研究もまた、顔の魅力の重要性を指

摘する。身体的魅力の効果に関する先行研究をレビューした Langlois et al.[1] によって、身体の魅力は社会的相互作用や精神的適応に少なからず、概ねポジティブな影響をもつことが示されている（加えて、そこで身体の中でも特に顔が重要視されていることも指摘されている）。

1.1. 顔の魅力に対する進化心理学アプローチ

顔の魅力に関する実証科学的研究が本格的に取り組まれるようになる以前、社会科学の領域では“美は見る者の目の中に宿る”といった言い回しに代表されるように、いかなる顔に魅力が感じら

1) 東京大学大学院、Graduate School of Education, The University of Tokyo